

範囲指定なし 第11問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 得意先鹿児島商事(株)から売掛金の支払いとして、当座預金口座に¥200,000 が振り込まれていたが、決算日までに通知が届いていなかったため未記入であった。
2. 売買目的で北海道商事(株)の株式 2,000 株を 1 株につき ¥420 で買い入れ、代金は買入手数料 ¥8,000 とともに小切手を振り出して支払った。
3. 埼玉商事(株)から商品 ¥550,000 を仕入れ、代金のうち ¥150,000 はさきに受け取った千葉商事(株)振り出しの約束手形を裏書譲渡し、残額は掛とした。
4. 倉庫が火災にあい、建物（取得原価 ¥3,000,000、減価償却累計額 ¥1,800,000、間接法で記帳）を焼失した。なお、焼失した建物には総額 ¥1,500,000 の保険が付されていたので、ただちに保険会社に保険金の支払いを請求した。
5. 仕入先より商品 2,000 個（原価 @ ¥400）を仕入れ、代金は掛けとした。なお、商品売買の仕訳方法は、「販売のつど、商品勘定から売上原価に振り替える方法」を用いることとする。
6. 決算に際し、当期に実施できなかった修繕を翌期に行うこととなったため、引当金 ¥600,000 を計上することにした。
7. 備品（取得原価 ¥800,000、減価償却累計額 ¥600,000、間接法で記帳）を除却した。なお、除却時における備品の処分価値は ¥120,000 と見積られる。
8. アメリカの得意先に商品 3,000 ドルを輸出し、代金は掛けとした。なお、その際の為替相場は 1 ドル ¥120 であった。
9. 会社の設立にあたり、株式 5,000 株を 1 株あたり ¥50,000 の価額で発行し、払込金は当座預金とした。なお、会社法が認める最低額を資本金とする。また、株式の発行にともなう諸費用 ¥200,000 は現金で支払った。
10. 決算にあたり、当期純利益 ¥1,000,000 を計上した。

範囲指定なし 第11問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	200,000	売掛金	200,000
2	売買目的有価証券	848,000	当座預金	848,000
3	仕入	550,000	受取手形 買掛金	150,000 400,000
4	建物減価償却累計額 未決算	1,800,000 1,200,000	建物	3,000,000
5	商品	800,000	買掛金	800,000
6	修繕引当金繰入	600,000	修繕引当金	600,000
7	備品減価償却累計額 貯蔵品 固定資産除却損	600,000 120,000 80,000	備品	800,000
8	売掛金	360,000	売上	360,000
9	当座預金 創立費	250,000,000 200,000	資本金 資本準備金 現金	125,000,000 125,000,000 200,000
10	損益	1,000,000	繰越利益剰余金	1,000,000

【解説】

2. 取得原価 ; $2,000 \text{ 株} \times \text{¥}420 + \text{¥}8,000 = \text{¥}848,000$
5. $2,000 \text{ 個} \times \text{¥}400 = \text{¥}800,000$
8. $3,000 \text{ ドル} \times \text{¥}120 = \text{¥}360,000$
9. 払込金 ; $5,000 \text{ 株} \times \text{¥}50,000 = \text{¥}250,000,000$ 、 資本金 ; $\text{¥}250,000,000 \times 1/2 = \text{¥}125,000,000$